

もちつきイベント開催しました！

野馬土の新聞

(Web版)

2018年12月号

特定非営利活動法人
野馬土

相馬市石上字南白鬮320
TEL.26-8437
FAX.26-8203

2018年最後の交流事業として『もちつきイベント』を12月22日に開催しました。今回は6組のご家族が参加し、まずは雑煮作りからスタート。大根やごぼうを包丁で切ったり人参の皮をむいたり、初めて使う包丁にドキドキしながらも上手に作業を進めていきました。鍋でぐつぐつ煮ている間に外ではもち米が蒸し上がり、いよいよ餅つきの始まりです。子供達は自分の体よりも大きな杵で一発懸命もちをついてくれました。つきたてあつあつのお餅は一口大にちぎって、きなこや冬至かぼちゃと一緒においしく試食しました。

2回目についたお餅は雑煮用に直売所のお客様にもおふるまいをして喜んでいただきました。やっぱり臼と杵でついたお餅はコシがあつてサイコーですね！お手伝いをいただきました新地の目黒さん、どうもありがとうございました。2019年も楽しいことをたくさん企画して参ります！



廃炉資料館がオープン

2018年11月30日、双葉郡富岡町に東京電力廃炉資料館がオープンしました。廃炉資料館は旧エネルギー館を改修し、福島第一原発事故発生当時の様子や廃炉作業の現状を紹介する施設となっており、震災直後の様子や水素爆発が起こるまでの状況、現在の作業状況等が放映されているシアタールームや、T-4号機の事象「反省と教訓」等の映像・解説付きのブースが各所に設けられています。所要時間は約1時間、1時間半程度。事故当時から廃炉作業の現状を知ることができる施設です。



～アロマ講座～ ココロもカラダもリラックス♡

12月5日・15日両日、アロマ講座を開催しました。アロマセラピストの渡部春美さんより「香り」の基礎知識を学び、入浴剤と保湿オイルを作りまし。西洋では医療として扱われており、更年期障害の症状緩和や精神的疲労を改善する一方、妊婦やペットには悪影響な作用も…。正しい知識を得て使うことが大切なのだそう。アロマの香りに包まれて和やかな癒しのひとときを過ごしました。



二〇一九年 年初にあたってのご挨拶



特定非営利活動法人
野馬土
代表理事 三浦広志

2019年が始まりました。野馬土を作るきっかけとなった東日本大震災と福島第一原発事故の影響は、ますます深刻さを増しています。来年開催される東京オリンピックの華やかなニュースとは対照的に、事故を起こした原発周辺の復興の困難性がますます明らかになり、その一方で復興予算や東京電力からの賠償金が打ち切られつつある現状は、この地域の未来に対する不安を大きくしています。野馬土は、農業の再生を通じてこの地域の復興を目指すことを目的として設立され、農家の営農再開や再生可能エネルギーの拡大、新しい農業の担い手育成や地域に明るさを取り戻す様々な取り組みを実施してきました。また20km圏内ツアールをサポートすることにより相馬・双葉地域の現状を日本中や世界に発信を続けてきました。これらの活動を通じて、一定展望を持てる状況は作ってきましたが、状況の深刻さに比べて非力さを痛感しています。2019年は猪年です。これまでの蓄積をベースにしながら、この地域で力強く生きていこうとする人達とそれを応援したいという意思を持っていただいている方々を結びつけながら、継続した復興を実現できるような活動を展開していきたいと思っています。野馬土は今年も猛進してまいります。皆さまの応援・ご協力をいただき、皆さんと一緒に、楽しい相馬地域を作ってまいります。